



(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb 2008(v.3.2)

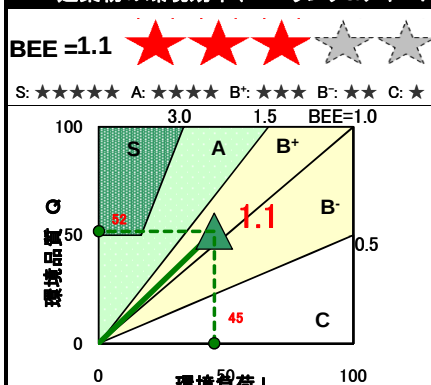
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西原6丁目ビル	階数	地上10F
建設地	広島市安佐南区西原6丁目394-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	97 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年9月 予定	評価の実施日	
敷地面積	1,070 m ²	作成者	株式会社真野設計 真野典彦
建築面積	322 m ²	確認日	
延床面積	2,240 m ²	確認者	

外観パース等

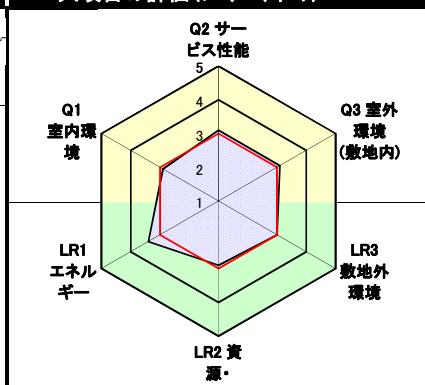
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

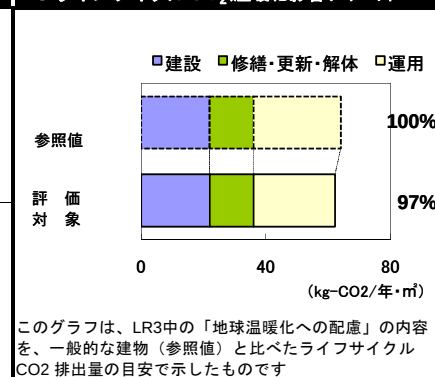
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

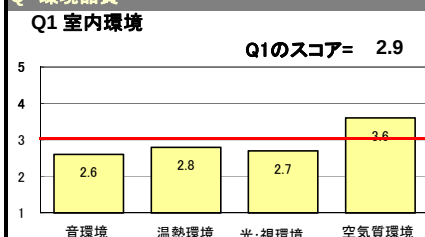


2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

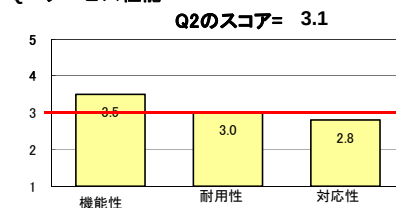


2-4 中項目の評価(バーチャート)

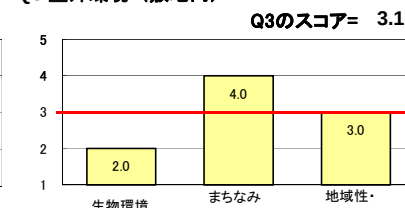
○ 環境品質



Q2 サービス性能

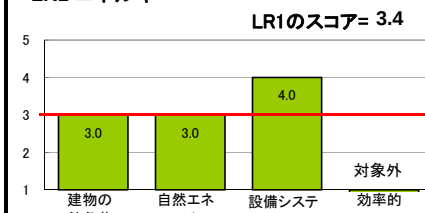


Q3 室外環境（敷地内）

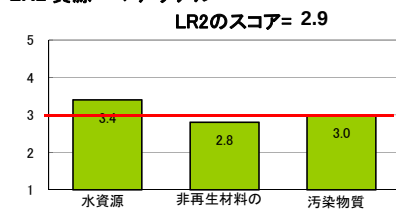


LR 環境負荷低減性

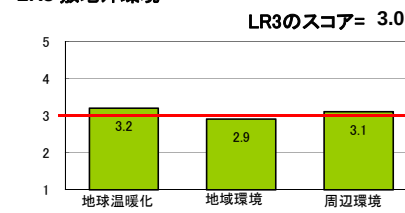
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 數地外環境



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア＝ 3.1

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア＝ 3.2	スコア＝ 2.5	スコア＝ 2.9
設計の計画・上特段に配慮した事項	設計の計画・上特段に配慮した事項	設計の計画・上特段に配慮した事項
日本住宅性能表示基準「5-1省エネルギー対策等級」における等級3に相当しています。/ 採光・通風に配慮した計画にしています。/ ガス給湯器を採用します。高効率の照明器具を採用します。/ 照明を効率的に運用できるよう計画しています。/ 主要水栓は節水タイプの水栓を採用します。/ 可能な限り、CO2の排出を抑制します。	敷地の道路側に緑地を多く設けています。/ 駐車、駐輪スペースを確保しています。	内装仕上げ材は、耐久性があり、メンテナンスの容易な材料を採用します。/ 可能な限り構造部材をいためることなく、設備の修繕、更新ができるよう、計画しています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、|B1、|B2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。